

山口カトリック教会報

サビエルの鐘

第 50 号



「山口は大いに発展する」

主任 片柳弘史 神父

「山口は大いに発展するものと考えられる」、1552 年にインドのコチンからローマのイグナチオ・デ・ロヨラに宛てた手紙の中で、ザビエルはこう断言しています。山口の教会に集まっている信徒たちはみな優れており、また教会に活気がある。だから、「山口は大いに発展するものと考えられる」というのです。

山口教会に赴任してまだ 3 週間ほどではありますが、わたしはいま、ザビエルの気持ちがよくわかる気がしています。この教会に来てすぐに気づいたのは、信徒の皆さんがとても元気であること。それぞれが福音宣教のために自分にできることを見つけ、積極的に取り組んでいるということです。それぞれが、神さまから自分に与えられた宣教の役割に気づき、神さまのみ旨を実現するためにできる限りのことをしている。これこそまさに、発展する教会の条件と言ってよいでしょう。「ザビエルはやはり、人を見る目があった」、そう思わざるをえません。

赴任したばかりの 4 月 29 日、この教会を会場として「サビエル・フェスタ」という若者たちのお祭りが行われました。広島教区青年委員会が中心となって企画したのですが、なんと 1100 人以上の若者が集まる大盛況となりました。これほどたくさんの人々が集まったのは、何より大西神父を初めとするスタッフの熱意の賜物に違いありません。ただ、出店したお店の方々からは、「フェスの成功には、スタッフはもちろんだが、場所の力も大きい」という声が聞かれました。街の中心部にあり、地域の人々に昔から愛されているこの山口教会には、人々を呼び寄せ、一つに結び付ける場所としての力があるのです。使命感に燃え、活気にあふれた信徒たちと、この教会が持つ場所の力が結びついたとき、そこに待っているのは発展、それもザビエルでさえ予測しなかったほどの大発展であるに違いありません。

さらに言えば、ここに派遣されているイエズス会員たちです。この教会では、なんといま、ルイス・カンガス神父とドメニコ・ヴィタリ神父という、日本の教会の発展を長年に渡って支え続けてきた高名な宣教師が二人も現役で働いているのです。歳をとっても変わることはないお二人の宣教への情熱が、この教会の発展を土台から支えてくれるでしょう。ベトナムからの宣教師、ミン・トアン神父の若い力にも大いに期待が持てます。



「山口は大いに発展するものと考えられる」というザビエルの言葉が、いままさに、力強い説得力を持ってわたしたちの心に響きます。神さまから与えられたすべての恵みに感謝し、ともに福音宣教に邁進していきましょう。

初めまして、ミン・トアン神父です！

グエン・ミン・トアン 神父

2015年6月下旬に来日したイエズス会のグエン・ミン・トアンです。2022年9月17日に、神様の恵みと皆さんのお祈りに支えられて司祭に叙階されました。ここでは、私の召命、特に司祭になろうと思ったきっかけについて、簡潔に分ち合いたいと思います。



私は幼児洗礼を受け、ずっとベトナムのカトリック教会の環境の中で育ちました。両親と暮らしていた家は祖父と祖母の家に近かったため、ほぼ毎日そこで過ごしました。そこで私が感じたのは、祖父と祖母の愛に守られながら温かさを感じること、そして特に祈ることの大切さでした。朝早く4時頃に起きて教会でミサに与ったり、夕食後に家族全員が集まって晩の祈りをしたりしました。私が文字を読めるようになったとき、祖父の指示で、晩の祈りの際に翌日の福音書を皆の前で読むようになりました。家族との生活は、物質的には豊かではありませんでしたが、とても幸せでした。また、毎日与っていた教会のミサで、司祭たちが祭壇で手を広げてミサを捧げる姿をずっと見ていました。いつの頃からか、その姿が私の心に深く刻まれるようになりました。今振り返っても、その姿は美しいと感じます。その姿を通して、少しずつ神父になりたいという望みが強くなっていきました。ただ、その望みをどのように、どうやって実現できるのかは、高校を卒業してから探し始めました。当時、私の故郷ではドミニコ会や教区司祭はよく知られていましたが、イエズス会はあまり知られていませんでした。それでも最終的に、私はイエズス会に入会することになりました。要するに、私が司祭になりたいという望みを持てたのは、家族や故郷の教会の人々に支えられたおかげであり、また祭壇で奉仕する司祭の姿を見ながらその望みが強められ、その望みに導かれる体験をしたからです。どうかこちらの教会で皆さんとともに歩むあたたかさのある教会をめざしていけるよう、お祈りと支えをお願いいたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。

受洗おめでとうございます

4月20日復活の主日に

中島さんが受洗なさいました

なかしまわかつ

中島若恵

洗礼名 テレジア



3月9日洗礼志願式より山口教会の皆様からは、たくさんのお祈りとお言葉を戴き心から感謝しております。アルフレッド神父様の「あなたは生まれたばかり、これからながいですよ。」のお言葉は忘れません。少しでも自分を紹介します。

私の趣味は園芸です。すべてが鉢物ですがミニバラを育てています。初春の芽吹き、小さな蕾、満開の花どれも皆良いのですが、特に冬の剪定と植え替えで短くした枝が冬の寒さの中で力を蓄えてゆき、初春にゆっくりと芽吹いて行くのを見るのが楽しみです。まもなく咲き始める蕾達からたくさんの癒しを戴きます。こんな私ですが、皆様の家族の一員としてどうぞよろしくお願いいたします。





乙女峠まつりに参加して

5 月 3 日晴天、乙女峠まつりに参加なさったおふたりに
感想をいただきました。写真は伊藤望さんから。

◇ 伊藤 望

空は晴れ緑に囲まれた乙女峠まつりであった。10 時 15 分、
開会式後全国からの 1000 人以上の大勢の信者が「あめのきさ
き」を歌いながら津和野の町をねり歩き乙女峠まで行列した。

津和野の人々は玄関先で私達を温かく迎えてくださった。山道にさしかかるとせせらぎの音とシャガの白い花
も私達を迎えてくれた。

福音朗読の後、津和野教会の山根神父様が説教をされ「東京大空襲、広島原爆の語り部が益々歴史を伝える
上で大切になっているように、皆さんも津和野の証し人になって欲しい。乙女峠に結ばれた者として、語り部
として、周りの人に伝えて欲しい」と述べられた。祈りの式の最後に白浜司教様が挨拶。迫害を受けた人の証
し人になるよう呼びかけられ「教皇様はもう泣かないでと言っています。共に歩みましょう。」と私達を派遣
された。この稿の最後に津和野乙女峠に流配され仲間を励まし続けた高木仙右衛門の一言を伝えたい。その子
孫に当たる Sr. 高木慶子さんの言葉。「転んだ人達を決して悪く言うな。その人達の闇の中での差し入れがあっ
たからこそ生き延びることが出来た」

私は命がけで信仰を貫いた人達の信仰と、転んだ人達の捨てきれない信仰とは何かを問い続けたいと思う。

◇ 稲垣香枝

「今年是一緒に行こうね」と代母さんと約束して、待ちに待
った 5 月 3 日。津和野教会前に次々と人が集まって来る。み
な嬉しそう。マリア様のご像を担ぐ乙女たちも可愛らしい。
町を歩いて乙女峠へ上がると、ふだんは静かな広場が人々で
賑わい、活気に満ちている。多くの神父様によるゴミサは圧
巻。白浜司教様の「ここに集まった人はみな、津和野教会の
人です」の言葉に、ここでこの時を一緒にできる喜びを感じ
ました。



今ではピクニックに来たくなるような清々しい広場になっていますが、過去には長崎から 153 名のキリスト
者が連れて来られ、拷問され殉教した信者も出た場所だと知りました。拷問で苦しむ中、幼いモリちゃん、佐
次郎さん、安三郎さんの言葉が強く心に残りました。この地での出来事を多くの人に知っていただき、また心
の糧になるよう、ぜひ乙女峠へ足を運んでください。帰りのバスで、安三郎さんを見つめるマリア様に思いを
馳せながら、隣りに座る代母さんと参加した皆さまとご一緒できた幸せに感謝しています。世界がこの乙女峠
のような幸せに満ちた地になりますように。

萩市紫福のキリシタンの史跡をめぐってみませんか

① 長久寺(マリア観音像)

② 三位一体像

③ 鉄心寺跡(伴天連墓)

④ キリシタン祈念地

⑤ 仏光寺(キリシタン墓)

⑥ 黒須の石室(キリシタン墓)



参考: 福栄おたからマップ「まちじゅう博物館 HP」

大阪教区の皆さんと山口・萩・津和野巡礼の 3 日間 (5/1~5/3)

阪口康則



今年も大阪教区の神父様と信徒の皆さんが訪れ（玉造教会ホセ・ラモン神父様、大阪教区 10 名、小教会から 20 名）、萩・山口・津和野と各地を巡礼されました。2 日目に今回初めて徳佐の地福教会を案内し、明治から大正時代のヴィリオン神父様との関わり、教会の成り立ち等を説明しました。午後からは市内の築山館・龍福寺で大内氏の歴史や、サビエルとの出会いを説明し、サビエル公園でもヴィリオン神父様の支援及び行動によって完成した経緯を説明しました。

サビエル記念聖堂でのミサ後、聖堂及び資料館を案内し、帰りにサビエル書院でお土産を購入して頂きました。

編集後記

「チャルダッシュ」という曲名を初めて知った。時の支配者に禁止されたといわれるハンガリーの印象的な伝統民族音楽。支配と禁止が容易に結びつくことは、現代の私たちも体験する。けれどキリスト教では、主なる神は人間に自由をお与えになった。こまごましい禁止に辟易した時節が去った今、神からいただいた自由をもって、自分に出来ることすべきことを、落ち着いてよく考え、行動したい。(首藤)

発行
発行責任
編集

山口カトリック教会
主任司祭 片柳 弘史
山口カトリック教会 広報部

〒753-0089 山口市亀山4-1
tel. 083-920-1549
hp検索 山口カトリック教会
e-mail xavier@xavier.jp

2025年 6月 1日 発行